

第 13 回上天草市環境審議会議事概要

日時：平成 26 年 7 月 23 日（水）13 時 30 分～15 時 15 分

場所：上天草市役所大矢野庁舎 2 階庁議室

■審議会委員

No.	所 属 等	氏名（敬称略）
1	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター	逸 見 泰 久（会長）
2	崇城大学工学部エコデザイン学科	田 代 敬 大
3	上天草市区長連合会	森 山 高 信
4	天草漁業協同組合上天草総合支所	北 岡 久美子
5	上天草市商工会	瀧 下 夕 秀
6	一般社団法人天草四郎観光協会	木 下 朋 江 ※欠席
7	特定非営利活動法人シートラスト	嶋 田 昭 仁
8	熊本県地球温暖化防止活動推進員	松 本 俊 介 ※欠席
9	市教育委員会	福 田 直 理（副会長）
10	公募委員	藤 本 正

■事務局及び関係者

1	市民生活部長	緒 方 雅 文
2	市民生活部 環境衛生課長	辻 本 智 親
3	市民生活部 環境衛生課長補佐	森 口 真喜男
4	市民生活部 環境衛生課 環境係長	濱 田 忠
5	市民生活部 環境衛生課 環境係	吉 野 誠

■次第

第 12 回環境審議会	配布資料
1 開会 2 議事 (1)上天草市環境審議会について (2)本市の環境について (3)環境教育の推進について (4)その他 3 閉会	第 13 回上天草市環境審議会（資料 1）

■議事要旨（◎：議長（会長）、○：委員、●：事務局）

1 開会

◎議長

それでは次第に沿いまして、ただ今から第13回環境審議会を始めさせていただきます。審議会においては、録音のうえ事務局が議事概要を作成しますので御承諾ください。今回から新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、発言される場合には最初に氏名を述べられて発言いただきますようお願いいたします。

2 議事

（1）上天草市環境審議会及び本市の環境について

●事務局

～資料「第13回上天草市環境審議会」の説明～

◎議長

ありがとうございました。それでは質疑応答等のある方はお願いします。

○委員

漂流物のごみはわかりますが、イベントの後はごみがたくさん落ちています。会場には臨時的にごみ箱を設置してもらえればと思います。

●事務局

市で行うイベントは設置するケースが多いと思いますが、基本的には主催者が設置をするものと思います。

○委員

シルバー人材センターにて回収に行ったりしますね。

○委員

アダプトプログラムの登録数と効果については現状ではどうでしょうか。

●事務局

担当が企画政策課になりますので、詳しくは説明できませんが、成果は上がっていると聞いています。登録数は現在5団体（市設備工事組合、渋谷の里、湯島真木会、株式会社サンキョウ、大矢野岳を守る会、もみじの会）です。

○委員

各団体が作業をする際に予算の組み立てをして申請するものですか。

●事務局

清掃等の際に使用する燃料や草刈りの刃などは市から支給しています。

○委員

今の時期になると、くらげを獲りにいく漁師もいます。龍ヶ岳町にくらげの加工場がありました。現状はどうですか。

●事務局

周辺住民から悪臭等の苦情があり、実際に現場を確認し、悪臭の臭気を測定しました。測定結果は、臭いは法律の範囲内でした。その会社はすでに撤退していて建物もありま

せん。

○委員

業者は地元の方でしたか。

●事務局

大分県会社です。

○委員

経済活動と環境問題のつり合いが難しいですね。

◎議長

その他意見等ないですか。それでは次にいきたいと思います。

(2) 環境教育の推進について

●事務局

～資料「第13回上天草市環境審議会」についての説明～

◎議長

私から発言するのも何ですが、熊本大学の合津マリステーションが、毎週土曜日に観察会をしていますが、もともとこれは上天草市と熊本大学の共催になっています。一番最初に行ったのは10年以上前になりますが、当時は松島町の観光課といっしょになってしていましたが、現在は熊本大学とビジターセンターとでやっているような形になっています。本来であれば上天草市とでやる方がいいと思います。

○委員

告知方法は何ですか。

◎議長

ビジターセンターのホームページに掲載しています。いつの間にか熊本大学とビジターセンターで行っているようになってしまいました。熊本大学などのホームページなどには上天草市と共催でやっているとしていますので、そのあたりをはっきりしてもらえればと思います。また、他にもいろいろなイベントをしていますが、地元の参加が多くないです。一本の木財団主催のイベントや、永浦干潟での観察会などしていますが、ほとんど上天草市以外から参加していて、地元の参加が少ないのが現状です。

○委員

一本の木財団の告知ですが、数年前に直接一本の木財団からお誘いがありまして、参加した経緯がありましたが、ほとんど告知が地元の方までうまく届いてなかったようです。広報や学校などを活用すれば地元の方も参加されると思います。勉強になります。

◎議長

10月に海の生き物と化石の観察会を開催しますが、午前中にごみの清掃活動を行い、午後から私が講演し干潟で観察会を行います。せっかく上天草市には合津マリステーションや水産研究センターがあります。2日間ありますが、初日のみの参加も構いません。海の生き物の観察や、千巖山の化石観察などがあります。4月から化石の専門家が大学にきていまして、当日は専門家が説明することになっています。いろんなところとタイアップしていければと思っていますが、せっかくいいところに住んでいるのに地元の方が少ないのが現状です。加えて天草はジオパーク構想も進んでいます。現在は申請

している段階ですが、そういったいろんな資源がありますので、活用しないともったいないと思います。

○委員

シートラストのホームページにも掲載してよろしいですか。

◎議長

構いません。まだイベントのチラシは作成途中ですが。毎週水曜日に熊本市のパレアで教員や水産研究センターの方が毎週交代で5回～6回講師として教えていますが、毎年同じことをやっているのと、参加者も少なくなってきました。せっかく生き物や化石に関しては天草は有名ですので、それにターゲットを絞っていくことにしました。

○委員

タイムスケジュールはありますか。

◎議長

まだありませんが、後ほどお知らせします。

●事務局

今お話があったように、色んな情報を市からもっと発信していく必要があると思います。環境教育の推進に関する取組みの中で、熊本県が推進する学校版ISOコンクールに積極的に取組みますと、環境基本計画において位置付けています。ISOは子どもたちが自ら考え行動することで環境にやさしい生活を送り、環境保全活動や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成しようとするを目的として参加校を募集しているものです。平成19年度から県内すべての公立小中学校が参加しているということで確認しています。

○委員

提案ですが、環境教育を教育委員会と連携していくべきだと思います。温室効果ガスの問題など、重要な問題です。シートラストの活動を通じてうれしかったのは、高校生たちが会員として参加してくれています。特に今、高校生はボランティア意識が高く、海岸地域を毎週清掃活動してくれたりしています。学校が強制してやっているのではなく、率先して取り組んでいます。小学生から環境の教育を活かしてとりいれていただくと、大人になってからスムーズに循環型社会の担い手としていくのではないかと思います。

○委員

ISO宣言を掲げて取り組むということは、各学校では当たり前のようにやっています。例えば、使わない教室の電気は消しましょう、掃除のときに水道を出しっ放しではなく、バケツに溜めて使いましょうなどです。課題と思うところは、学校で取り組んでいることを家庭に広げることにはハードルがあると思いますので、教育委員会としてもそのあたりに視点あてた取組みが必要になると思います。環境学習としては、小学校4年生がごみや汚水についての学習を社会科の時間に扱うことになっていまして、例えば合津の終末処理場への見学や夏休みを利用して学習会を開いています。また、見学旅行というものがあまして、氷川などに行ったりしています。小学5年生は、水俣に学ぶ肥後っ子教室ということで、水俣の環境センターに行き、学習します。授業としては、名目は環境ではなくても、環境に目がいくような学習を行っています。グリーンカーテンなどもやっています。最終的に子どもたちが大人になったときに環境を大事にできる人

になってくれればと願っています。

○委員

わかりました。安心しました。

○委員

学校が環境問題に取り組む際に、市からの補助金や支援などがいないか、キャッチしておく必要があると思います。教育委員会とも連携して、情報を提供したり、計画を提案したりすることが必要だと思います。先ほど議長からチラシを提供してもらいましたが、積極的な告知によって情報を市民にもたやすやり方をさせていただきたいと思います。

また、広報として、区長回覧や防災無線、広報誌などあらゆるやり方を使っての方がよいと思います。せっかくのよいプログラムがありますので。

●事務局

確かに、ホームページだけではなくて広報誌等も活用する必要がありますね。

○委員

実際どのくらいがホームページを見ていますか。一ケタにも満たないのではないですかね。

●事務局

ちなみに今日出席いただいている委員の方々はホームページはみていらっしゃるでしょうか。

○委員

自分の見たいところの関連事項しか見ませんね。

◎議長

今の若い人たちはホームページを見なくてフェイスブックで済ませますね。大学の広報などもホームページに講演の情報を載せるよりフェイスブックつくって確認しています。

●事務局

周知の方法として、そのようなSNSを使って行うのも一つの方法ですね。

○委員

先ほど話があったように、ホームページを見る人は限られていますので、防災無線を利用して、市民を引きつけるような内容で放送してもらえればよいと思います。

◎議長

防災無線だと、日時や場所など短い内容しかできないですよ。

○委員

さきほどのイベントですが、定員は両日25名となっていますが、今後さまざまな告知がされると思うのですが。

◎議長

大学のバスですので、30名ぐらいしか乗れません。他の方は車で来てもらえればと思います。事前申込制にしています。また、子どもたちだけではなく、教育する方の先生方や大人もターゲットとして重要になると思います。

また、こどもエコクラブについてですが、やり方が難しいところがあります。子どもたちが個人的に参加することもできますが、まず団体に登録しないと、子どもたちは参加のしようがないですね。

●事務局

平成21年に上小学校がこどもエコクラブに登録してしまして、それ以降は新しく登録したところはないですね。市から教育委員会などに情報を発信していくと検討材料の一つになると思います。先ほどの話もありましたが、環境学習とあわせてこどもエコクラブを周知していければと思います。

◎議長

入会は無料ですか。

●事務局

登録は無料です。

◎議長

無料であればいろいろな資料が届きますので取り組んでいければですね。

●事務局

まず、どこか上天草市の学校の中からモデル校を一つ作って、そこから広げて行きたいと考えています。

◎議長

子どもエコクラブは自然保護のプログラムも組まれていて、観察会などもあったと思います。私を知っているのは、水俣の環境センターが年に何回か観察会をしていますが、そのときにこどもエコクラブに入りませんかと紹介があったと思います。

○委員

一番いいのは教育委員会にそういう部門をつくってもらって、直接情報がくるようにしていただいた方が早いと思いますね。

○委員

市の環境教育になるかはわかりませんが、私は大学で環境科学を担当しています。学生によく話をすることが、今の大人たちは全く環境教育を受けていないということです。ですから、今の大人世代でよほど意識して環境問題を勉強していた人以外は、環境問題をほとんど知らないと思います。教員免許の更新講習がありますが、私たちの有志の集まりですが、小中高保育園等の学校種に関係なく全ての先生が環境問題の講習を受けて頂くようにと思っています。自分で言うのも何ですが、有意義です。いかにこれまで大人世代が、環境問題を御存じないかということです。参考までにこちらをお配りします。

～委員からの配布資料について説明～

○委員

市の環境教育に直結するかはわかりませんが、今現在、環境教育とは全く教科分断的で、先生方の授業によっても色々違ってきます。また、どういう時期にどういうことを勉強していくかということが、全くなされていないと思います。それに対して、子どもだけではなく、大人もどう考えていったらよいのか、最終的には地域では地域の環境やまちづくりをどう進めるのかという話は不可分であると思います。情報をきちんと大人世代にも伝えていくと、自分たちがどういう時代を生きてきたのかということを含めて話をしていかないといけないと思います。

○委員

提案ですが、市民全般の環境に関する公開セミナーをできればと思います。先ほど話もありましたが、ほとんどの大人が環境教育を受けていないということであればなおのこと、前向きな企画が必要だと思います。

●事務局

来年度予算にて検討していきたいと思います。

○委員

出前講座の特別版のような形でできればよいですね。

●事務局

本日皆さまからいただきましたお話も含めまして、今後の環境施策に反映できればと思います。

◎議長

よろしく申し上げます。それではこれにて審議会を終了したいと思います。

3 閉会